

バショウカジキ流し釣り試験操業

南薩地域振興局林務水産課

- 1 日時 平成19年11月1日（木）午前6時～正午
- 2 場所 枕崎市白沢沖合～指宿市開聞沖（開聞岳西沖合）
- 3 使用漁船 西薩丸（4.68トン）
- 4 漁具 別添流し釣り漁具
- 5 餌 サバヒー16尾：20cmサイズ（活け間のスカッパーを開け活かした）
- 6 操業状況

- ・午前6時に石垣港を出港し知覧町松ヶ浦の定置網沖をバショウカジキが飛び跳ねないか目視による漁場探索を行う。
- ・バショウカジキが確認できないため、枕崎市白沢沖（開聞岳の突端と坊岬を結んだ線）まで探索するが1尾も確認できず。
- ・瀬掛かりしてチダイを釣っていた知覧町松ヶ浦の漁業者にバショウの情報を聞くが全然見ないとのこと。
- ・松ヶ浦沖の定置網の沖合に引き返し8時に漁具を2個投入する。間隔は200m程度離し、8時10分に終了した。餌は鼻掛け、背掛けとした。
- ・旗は潮と風の影響で南西に流されたが、喰いついた兆候はなく9時に漁具を回収した。引き上げた餌は活力があり何ら問題はない。（松ヶ浦沖は最近、飛び跳ねるのが確認され、また定置にも入網しており期待し、操業したが釣獲はなかった。）
- ・開聞岳西の定置網の沖合に移動し10時に漁具を100m間隔くらいにし3個投入した。近辺で曳縄（知覧町松ヶ浦所属船：ハガツオ、カンパチねらい）が操業しており漁具が絡む恐れがあるため、すぐに引き上げ場所を移動し再投入。
- ・前に使った2尾のサバヒーは針を付けたまま活け間に収容し再度使った。1尾は鼻掛けして投入した。
- ・旗は潮と風の影響で南西に流されているが、喰いついているような兆候はなし。
- ・午前11時に漁具3個を順次、回収するが漁獲は全くなし。
- ・針掛けしたサバヒーは泳ぎは活発で他の魚から食いつかれたような傷等もなし。

7 考察

今シーズンは顛娃町沖合へのバショウカジキの回遊が少なく定置網でも10月に数尾が入網した程度で、また、トビウオ流し網では1尾（60kg）しか獲れず沖での漁影もかなり少ないと思われる。

漁模様は少なくなってきたが秋目沖、甌方面での漁はまだ続いており、これからのかいぬい沖への回遊を期待し、その時点で再度操業する。

漁具漁法や餌については、ほとんど問題はなく魚さえ回遊してくれば釣れると思われる。

漁 具 構 成

名 称	材 質	規 格 ・ 寸 法	数 量	備 考
道 系	ス ー パ ー ト ト	100号 5~6m	1	
枝 系	ナ イ ロ ン	50号 45m	1	
釣 針	鋼	タルメ 25号	1	
重 り	鉄	300匁	1	
浮 子 玉	ガラスプラスチック	φ = 23cm	1	

漁 具 図 又 は 操 業 図



